

抗潰瘍剤(H₂ブロッカー)の分析

Analysis of H₂ blockers

抗潰瘍剤は胃潰瘍などに使用され、H₂ ブロッカーやプロトンポンプ阻害剤(PPI)などがあります。H₂ ブロッカーは胃粘膜細胞壁に存在するヒスタミンH₂受容体へのヒスタミンの結合を阻害して、胃酸の分泌を抑制します。日本では1998年からスイッチOTCによって薬局などで販売され、話題となりました。

本分析では、H₂ブロッカーのシメチジン、ラニチジン、ファモチジンを一斉分析しました。**L-column2 ODS**を用いることにより、どのピークもシャープに得ることができました。

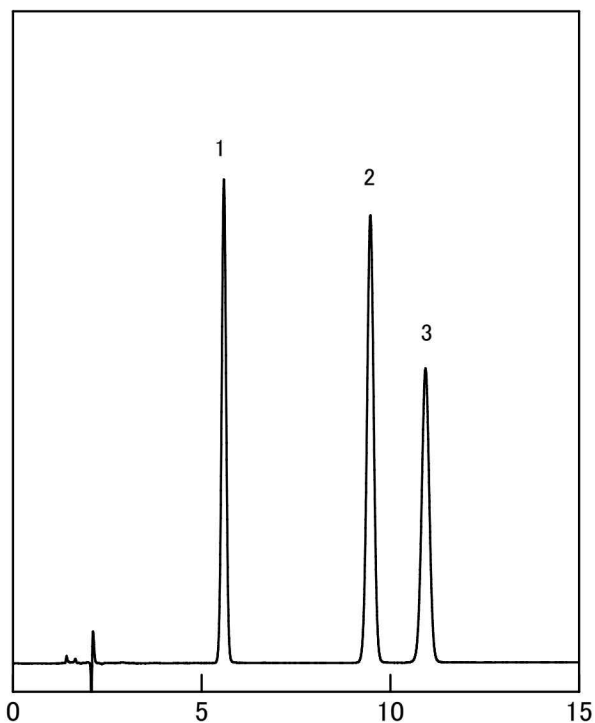
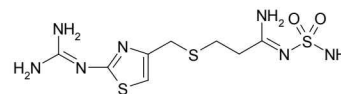
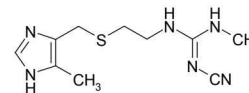


Fig. Chromatogram of H₂ blockers.

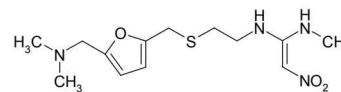
1. Famotidine (300 mg/L)



2. Cimetidine (300 mg/L)



3. Ranitidine (300 mg/L)



(in CH₃CN)

【Analytical conditions】

Column: **L-column2 ODS**(C18, 5 μm, 12 nm) 4.6 mm I.D. × 150 mm L.
Mobile phase: CH₃CN/25 mM Phosphate buffer pH 7.0(10/90)

Flow rate: 1 mL/min
Temperature: 40°C
Detection: UV 230 nm
Injection volume: 1 μL
System: -